

東北地方
太平洋沖地震

日野町で広がる支援の輪



輪五季冬
出場スタ
グール
バー
フリー
ム
キー
ス
バン
ク
ス
女
子
イ
藤
み
き
選
手

日野町出身の伊藤みき選手が、義援金とメッセージを町に届けてくださいましたので、ご紹介いたします。義援金は、社会福祉協議会の善意銀行に届けられました。

伊藤選手から被災地へのメッセージ

東日本大震災が起こった時に、私は妹と全日本選手権のために札幌にいました。札幌はほとんど揺れなかったので、テレビで被災地の映像が流れた時は恐怖を覚えました。全日本選手権は中止になり、私は長野に帰る予定を変更して、地元日野に一時的に帰ってきました。

滋賀県と京都府は福島県を支援することを知り、夏の練習の拠点であった福島県に、私が何か出来ることかと思ひ、少しですが義援金の協力をさせていただきました。少しでも早く、日本が元気になりますよう祈っています。

日野町商工会青年部 福島県新地町でボランティア

5月15日から18日まで、日野町商工会青年部、町内有志など28名の方が福島県新地町でのボランティア活動に参加されました。マイクロバスと小型重機を乗せた2tダンプ2台で、現地へと向かわれました。現地の避難所では、みたらし団子とポックコーンを振る舞われ、皆さんに喜んでいただけたそうです。また、被災地沿岸部では重機を使い、倒壊家屋や廃材等のがれき撤去などの活動をされました。

商工会館前で行われた出発式

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

東日本大震災からちょうど2か月が過ぎた5月11日、台風1号に寒冷前線が刺激され大雨に。各地に大雨警報が発令され、夜半には日野町にも。夜10時頃、

町道北脇中在寺線の佐久良川に架かる宮前橋の橋脚が急流に洗掘され沈下し、橋桁が折れ曲がりました。橋に添架していた水道管も破損し、北脇地区などが断水しました。職員から報告を受けて現場に駆けつけた時には、区長さんをはじめ地元の方々がおられました。水道修繕業務をしていただいている皆さんに夜通しで水道管の仮設配管工事をしていただき、翌日午後には復旧しました。また翌日、建設工業会の皆さんに河岸沿いに土嚢を設置していただきました。人身事故にならなかつたのがとても救いでした。今後、県や国と協議し災害復旧事業として取り組みたいと思います。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします。

町道北脇中在寺線の佐久良川に架かる宮前橋の橋脚が急流に洗掘され沈下し、橋桁が折れ曲がりました。橋に添架していた水道管も破損し、北脇地区などが断水しました。職員から報告を受けて現場に駆けつけた時には、区長さんをはじめ地元の方々がおられました。水道修繕業務をしていただいている皆さんに夜通しで水道管の仮設配管工事をしていただき、翌日午後には復旧しました。また翌日、建設工業会の皆さんに河岸沿いに土嚢を設置していただきました。人身事故にならなかつたのがとても救いでした。今後、県や国と協議し災害復旧事業として取り組みたいと思います。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします。

この夏は、節電が呼びかけられています。役場庁舎の老朽化した空調設備を30数年ぶりに更新し、窓には遮光フィルムを貼りました。節電効果を期待しています。それぞれが努力するとともに、この際「24時間、眠らない社会」から「夜は眠る社会」へ変えることや自然再生エネルギーへの転換に力をいれることが大切だと思います。